

第5回 EST普及推進フォーラム実施概要

EST(Environmentally Sustainable Transport:環境的に持続可能な交通)の普及促進を図るため、ESTの取組みについて講演やパネルディスカッション等で検討する「第5回 EST普及推進フォーラム」を開催した。また、「第3回 EST交通環境大賞※」の表彰を本フォーラムの中で行った。基調講演で東日本大震災と交通問題について学び、パネルディスカッションにて震災後に求められる低炭素交通システムを検討した後に、受賞講演により優良事例を共有した。

当日は、EST・交通環境対策について関心を持つ方々を中心に128名が参加した。当日のフォーラムの様子は平成24年3月12日の交通新聞や平成24年2月27日の東京交通新聞で取り上げられた。さらに「高松市総合都市交通計画」の受賞は平成24年2月5日の毎日新聞(地方版)や平成24年1月26日の四国新聞で記事として掲載され、「札幌みんなのサイクル ポロクル」の受賞は平成24年2月24日の建設通信新聞や平成24年2月28日の北海道建設新聞で記事として掲載された。

※地域の交通環境対策に関する取組み事例を発掘し、優れた取組みの功績や努力を表彰するとともに、その取組みを広く紹介し、普及を図るため、本フォーラムの主催者が平成21年度に創設した表彰制度。

日 時:平成24年2月22日(水) 13:30~17:00

会 場:スクワール麹町「錦華」(東京都千代田区麹町6-6)

主 催:EST普及推進委員会、交通エコロジー・モビリティ財団

後 援:国土交通省、環境省、警察庁、一般社団法人日本自動車工業会、
公益社団法人日本バス協会、社団法人日本民営鉄道協会、



「第5回 EST普及推進フォーラム」開催ご案内
- 東日本大震災と低炭素交通システム -



EST (Environmentally Sustainable Transport: 環境的に持続可能な交通) の普及促進を図るため、ESTの取組みについて講演やパネルディスカッション等で検討する「第5回 EST普及推進フォーラム」を開催します。
基調講演で東日本大震災に関する交通問題について学び、パネルディスカッションにて震災後に求められる低炭素交通システムについて検討します。また、「第3回 EST交通環境大賞」の受賞団体を表彰し、最後に受賞講演で優良事例を共有します。

EST・交通環境対策の最新情報入手し、優良事例を共有するとともに、震災後に求められる低炭素交通システムについて検討する重要な機会となりますので、皆様の参加をお待ち申し上げます。

※ 地域の交通環境対策に関する取組み事例を発掘し、優れた取組みの功績や努力を表彰するとともに、その取組みを広く紹介し、普及を図るため、本フォーラムの主催者が平成21年度に創設した表彰制度。

日 時 : 平成24年2月22日(水) 13:30~17:00
(13:00 受付開始)

会 場 : スクワール麹町3階「錦華」
〒102-0083 千代田区麹町6-6

主 催 : EST普及推進委員会、交通エコロジー・モビリティ財団
後 援 : 国土交通省、環境省、警察庁、一般社団法人日本自動車工業会、
公益社団法人日本バス協会、社団法人日本民営鉄道協会



環境的に持続可能な交通

Environmentally Sustainable Transport



←開催風景

広報チラシ→

開会挨拶・基調講演

国土交通省、環境省、交通エコロジー・モビリティ財団からの開会挨拶のあと、基調講演が行われた。

○開会挨拶

瀧口 敬二 国土交通省総合政策局 次長
弥元 伸也 環境省水・大気環境局 自動車環境対策課長
与田 俊和 交通エコロジー・モビリティ財団 理事長

○基調講演

「東日本大震災と交通問題に関する一考察」
元田 良孝 岩手県立大学総合政策学部 教授



パネルディスカッション「震災後に求められる低炭素交通システム」

コーディネーター: 太田 勝敏 東洋大学国際地域学部 教授
パネリスト: 元田 良孝 岩手県立大学総合政策学部 教授
岩崎 裕直 仙台市都市整備局 総合交通政策部長
松本 順 福島交通株式会社 代表取締役社長
岩手県北自動車株式会社 代表取締役社長
青木 栄治 国土交通省総合政策局 環境政策課長
弥元 伸也 環境省水・大気環境局 自動車環境対策課長

【概要】

前半は冒頭、仙台と福島の実況と課題をまとめたプレゼンテーションを岩崎氏、松本氏からいただいた後、元田氏から自転車と歩行者の分離に関する意見をいただいた。青木氏から地域公共交通確保維持改善事業等をはじめ各種施策を通じて被災地あるいは全国の実況面の支援を続けたい旨の発言をいただき、弥元氏から環境未来都市をはじめ各種施策を通じて超高齢化社会をイメージしながら交通分野での低炭素化をまちの低炭素化とセットで考えていく旨の発言をいただいた。後半は、被災地の低炭素交通システム構築に向けて検討を行い、元田氏から被災地の低炭素交通システム構築に向けて提案をいただいた。青木氏から交通基本法案や都市低炭素化促進法案などを活用して、被災地を支援していきたい旨の発言をいただき、弥元氏から低炭素交通システムを目指すためには役所の発想だけではなく、民間の発想も取り入れ社会実験などを通じて支援していきたい旨の発言をいただいた。さらに岩崎氏から、仙台市はコンパクトシティを目指し、地下鉄東西線を開通させて交通ネットワークの充実を図ると共に、モビリティマネジメント等のソフト対策を再開する旨の発言をいただき、松本氏からバス事業者として環境性能に優れた車両を導入しなければならないが、水素ステーションなどのインフラ設置を被災地沿岸部などにも進めて欲しい旨の意見をいただいた。まとめでは、元田氏から自転車に対してルールやマナーの徹底に関する発言をいただき、岩崎氏から災害から得た教訓と要望がなされ、松本氏から公共交通利用促進に向けた意見をいただいた。最後に、青木氏から環境対策を震災復興のなかで総合的に調和させていきたい旨の発言をいただき、弥元氏から低炭素だけではなくコンパクトシティは将来的なビジョンであり、低炭素の技術開発を進めて、社会に適応していく努力をしたい旨の発言をいただいた。



表彰式・受賞講演

休憩の後、第3回 EST交通環境大賞の表彰式が行われ、EST普及推進委員会 太田委員長から各賞授与 及び 審査講評が行われた。その後、受賞団体から受賞講演が行われた。

○表彰式

太田 勝敏 東洋大学国際地域学部 教授

【大 賞】 柏市

【優秀賞】 高松市総合都市交通計画推進協議会

【奨励賞】 和歌山の交通まちづくりを進める会“わかやま小町”

【奨励賞】 株式会社ドーコンモビリティデザイン、
札幌大通まちづくり株式会社、環境NGO ezorock

【奨励賞】 山形県高畠町

○受賞講演

「総合交通モデル都市柏 ～次世代型環境都市モデルへの展開～」

星 雅之 柏市土木部 道路交通課長

「高松市総合都市交通計画の推進」

中川 聡 高松市市民政策部 交通政策課長

